

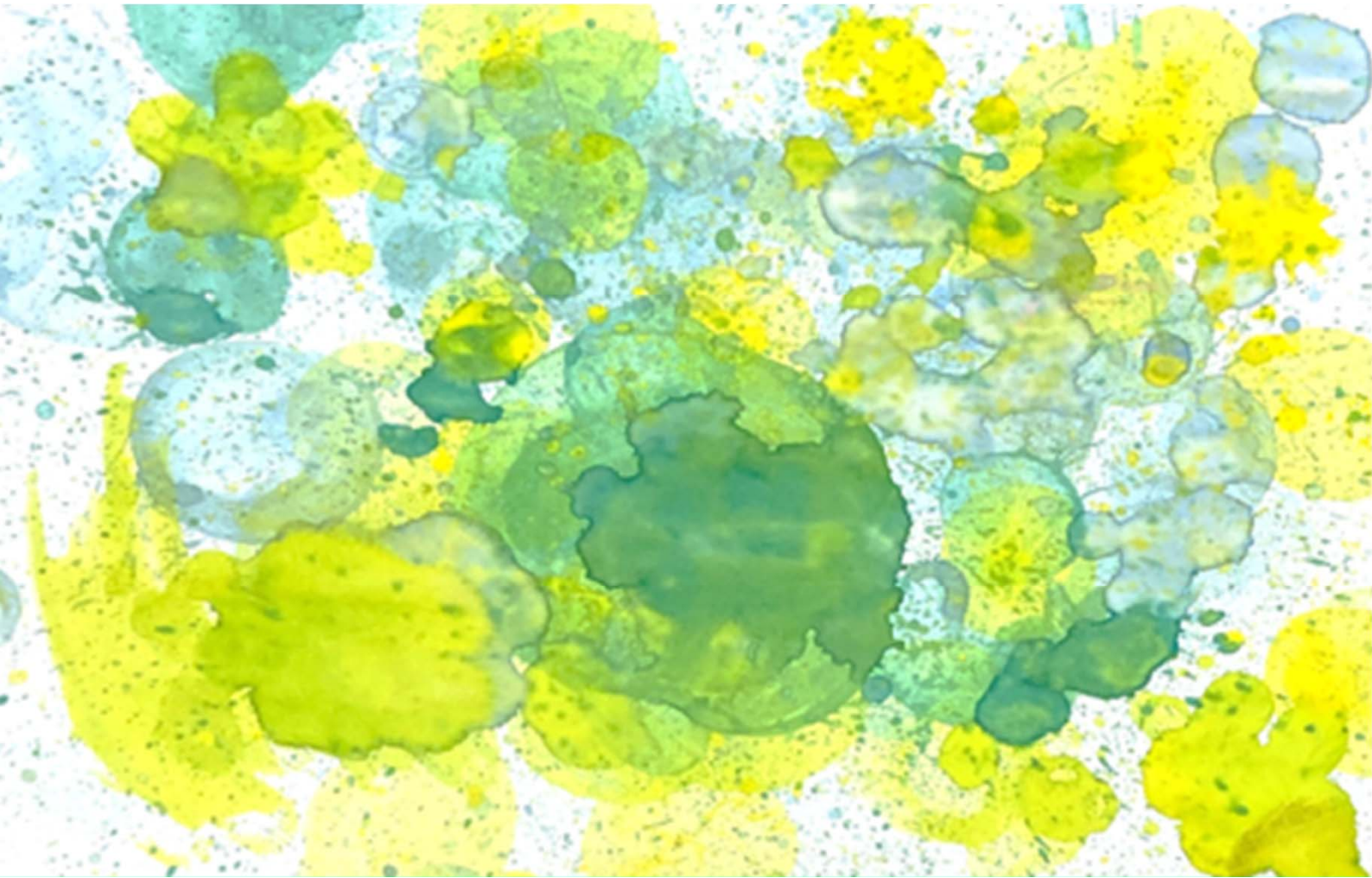
FOUNDATION FOR DESIGNING
100-YEAR LIFE SOCIETY



一般財団法人

人生100年社会デザイン財団

学び × 関係の創出 = 持続可能な人生100年社会



1 ご挨拶

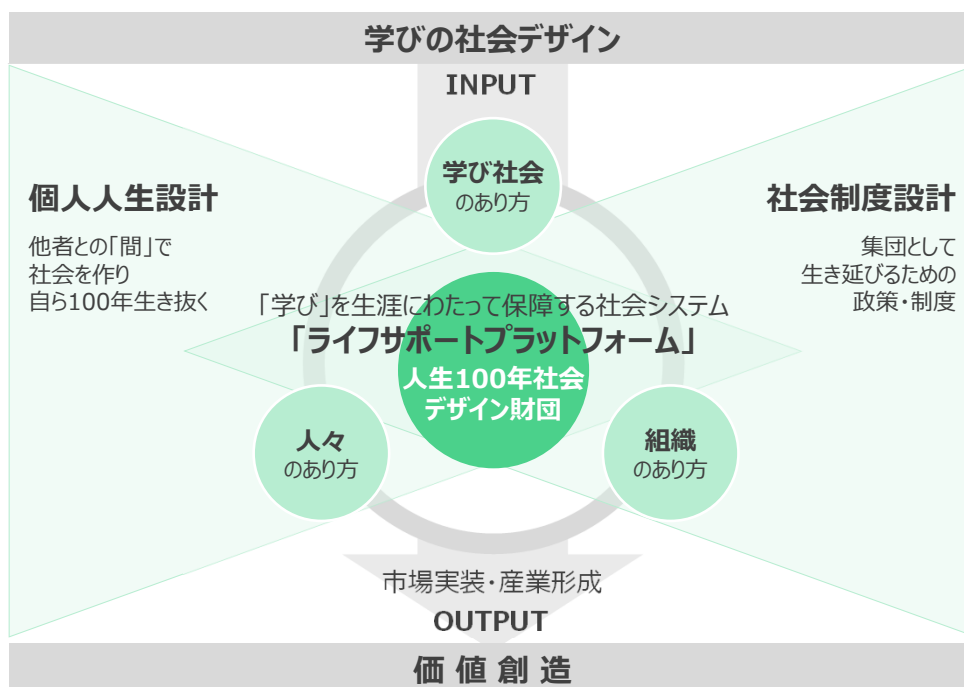
私たちは、社会の構造的な転換点に立っています。

少子高齢・人口減少の社会的進展、産業構造の変容、そして長寿命社会の到来。私たちは、これら大きな社会変動に日々晒されています。私たちは、来たるべき社会を、人生100年社会であると見え、それは、誰ひとりとして取り残されることなく、**それぞれが他者との関わりの中で、自らの人生を決定できる社会**であると考えています。

この社会の核となるものを、私たちは「**学び**」と位置づけます。「学び」とは知識や技術を学ぶということだけではありません。むしろ、**一人ひとりの人々が、他者との間にあって、対話的に、新たな価値をつくりだし、人生100年をわくわくしながら生き抜くことができる、そのプロセス全体**をいいます。そして、この「学び」のためには、その「学び」を生涯にわたって保障する社会システムが必要となります。

これを私たちは、「ライフサポートプラットフォーム」と名付け、人々の生活を生涯にわたって支え続けるための社会的な基盤整備事業だと位置づけます。このライフサポートプラットフォームを社会制度として整備し、人々の「学び」を励まし続けることで、一人ひとりの人々が自らの価値をつくりだし、また他者との交流の中で新たな価値を創造し続けることができ、社会全体がにぎやかな価値に覆われ、一人ひとりが自ら納得して自分の人生を決定することができること、これこそが来たるべき社会のあり方だと考えます。**来たるべき社会を実現するために、私たちは、そのエンジンとしての「一般財団法人人生100年社会デザイン財団」を設立します。**

この財団では、人々の生涯にわたる生活を支えるプラットフォームの形を研究し、政策提言を含めた事業を進めます。また、「学び」のあり方を検討して、新たな価値を生み出し続け、わくわくして人生100年を生き抜く人々の姿を明らかにするとともに、そのための事業を創生して、市場を通して社会に実装することで、この社会を多元的な価値に溢れる、誰もが価値の創造者として、役割を担い続け、自己変革し続ける社会の実現を目指します。



一人ひとりが自ら納得し 自分の人生を決定できる 社会の実現

||

人生100年社会における「学び」社会の実現

「学び」社会のあり方研究

財団は、一人ひとりが納得して自分の人生を決定することができる社会、すなわち生き生きとした100年社会の実現を目指します。その社会の実現のためにまずは社会のあり方について、各界の方々との対話や研究を通して人生100年社会における「学び」社会の輪郭を描いていきます。

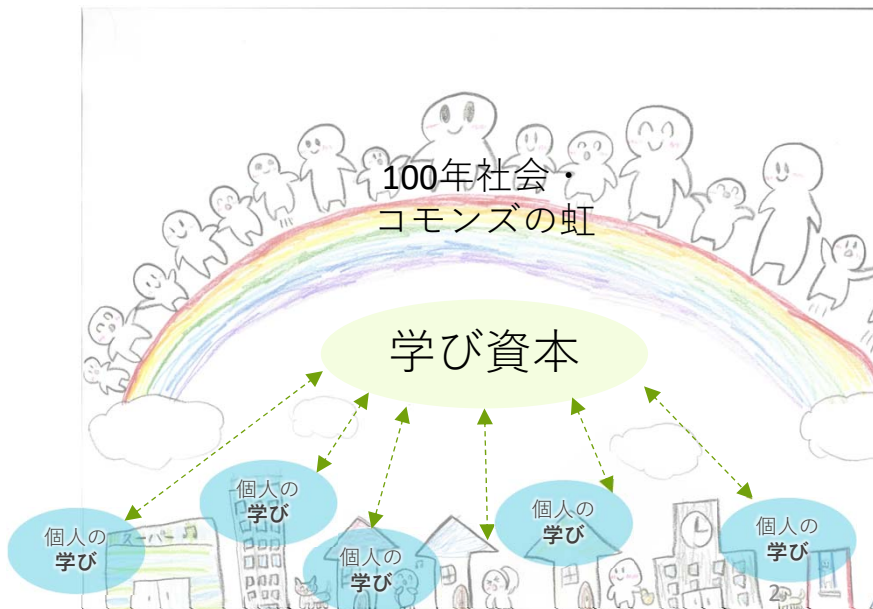
「学び」社会の地域実装

「学び」社会の実現に向けて、あり方を研究していくと同時に地域実装を通して「小さな社会」をたくさん作ることを目指します。小さな社会を作り、つなげていくことで、他者との関係と対話から生まれる新たな価値の創造をし続けることができると考えています。



「学び」社会のあり方研究と地域実装をもとにした、グランドデザインとプラットフォームの形成と更新

上記研究と実装、そして「分かち合い社会」、「学び社会」、その考え方のベースとなる「社会的共通資本」を基盤に、「学び」の実践が指し示している新しい人間像と組織論をとらえ、人生100年時代の社会のグランドデザインを描いていきます。



「学び」とは、単なる学習ではなく、一人ひとりが人と人、人と社会、人と自然の関係につき自ら考え、自ら主体的に行動するための持続的かつ創造的な活動です。

人はこの学びを生涯にわたり継続することで、その成果を**学び資本**として、あるいは**知識資本**として社会のコモンスとして蓄積し社会に還元し、また分かち合い、そして次世代に継承します。

それぞれの学びが集積されることで、皆がより良く生きられる社会が形作られます。

一人ひとりが学ぶことはそれ自体、社会に貢献することであり、企業や組織、行政はこの学びが健全にかつ自由に行われるための環境を整え、支援することがその社会的使命と考えています。

「学び社会」に必要なAARサイクルの考え方

従来のPDCAサイクル型ではないAARサイクルを実践に取り入れます。

AARとは：Anticipation、予期する。そこには良き未来を構想し、わくわくしたり、ニヤニヤしたりするという意味が込められています。そういう未来を予期し、やってみて（Action）、少し振り返り（Reflection）、また新しいことを考えてやっていく。わくわくしながら次へ、次へという循環が駆動されていきます。

財団は、AARサイクルの考え方に則り、小さな実践を繰り返しながら課題を解決する方法を基本としています。

ワクワクしながらまずはやってみる、その実践結果を元に次の行動をニヤニヤしながら考える、それを繰り返し少しずつ課題解決に向かって進みます。

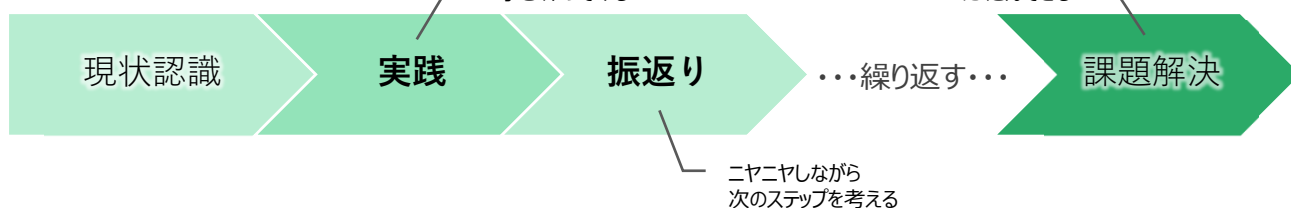


財団が考える100年社会の課題解決手法

今までの解決手法



AARによる解決手法



研究、事業、活動を通じて、

「学び」社会における「人」と「人」との関係性の構築や、その変化について明らかにし、持続可能な人生100年社会の構築を目指します。

財団の事業内容

01

学習基盤事業

100年アカデミー事業

- 人生100年社会デザイン・フォーラム
講義と招待研究者による特別講義
- 人生100年社会デザイン・ハブ
企業同士がセミナー等を通し、自由闊達に議論をする場

02

研究・実証等事業

“Revive”コミュニティ事業

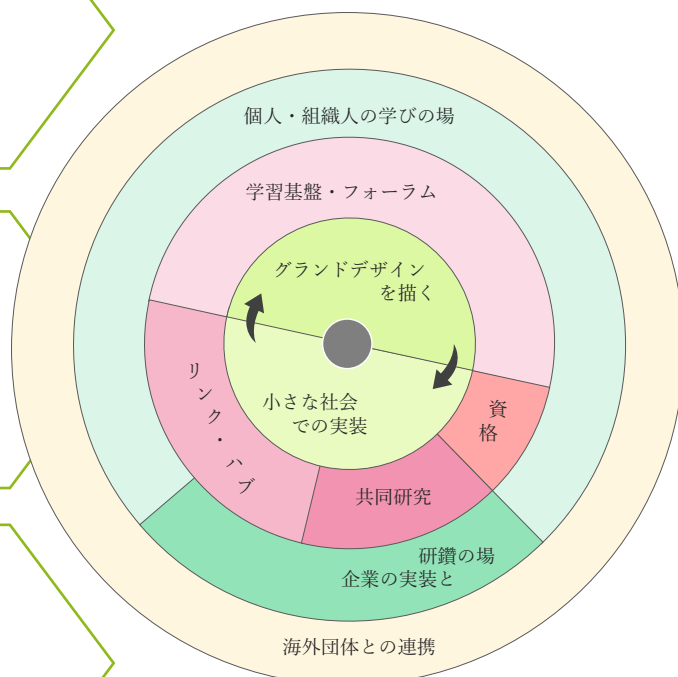
- プロジェクト（共同研究事業）
小さな社会を実現するための地域実装、活動を共に考える
- リンク研究事業
小さな社会を実現するために必要な領域を研究する場

03

実装支援事業

ア krediyation 事業

- 実装支援と外部連携
他団体との研究会活動やイベントなどの共催
- 資格制度の形成
養成講座や関連講座の資格制度の制定検討



今後の活動展開

国際的な新たな社会形成に対しても、共同研究を組織しつつ、貢献していきます。

日本における研究成果やモデル形成の実証結果を、アジア地域及び世界に提供し、実践的かつ現実的な事業展開を目指しています。

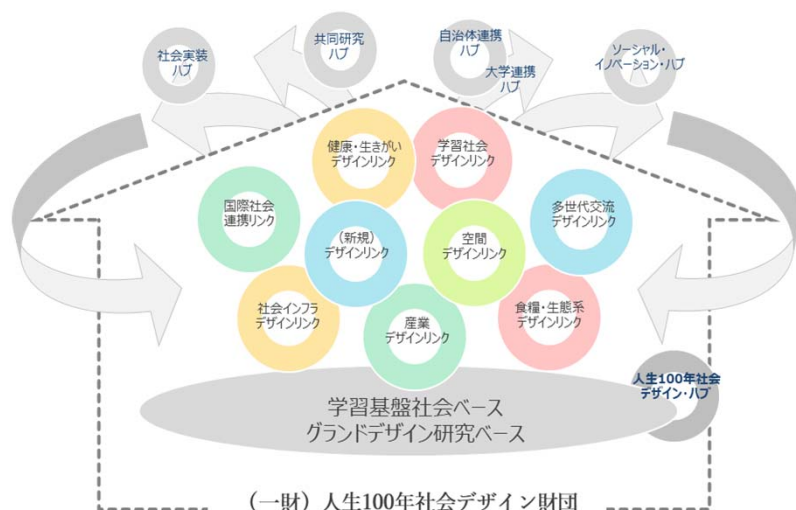
デザインフォーラム

本財団の代表理事牧野篤氏を中心に、「学識者や各界のリーダー」が集い自由闊達に意見発露し、「新しい（人生100年）社会のグランドデザインの指針」を提起する「場＝Forum」を創設します。日本経済新聞社と八芳園の協力を得て年間8回程度のフォーラムを開催します。



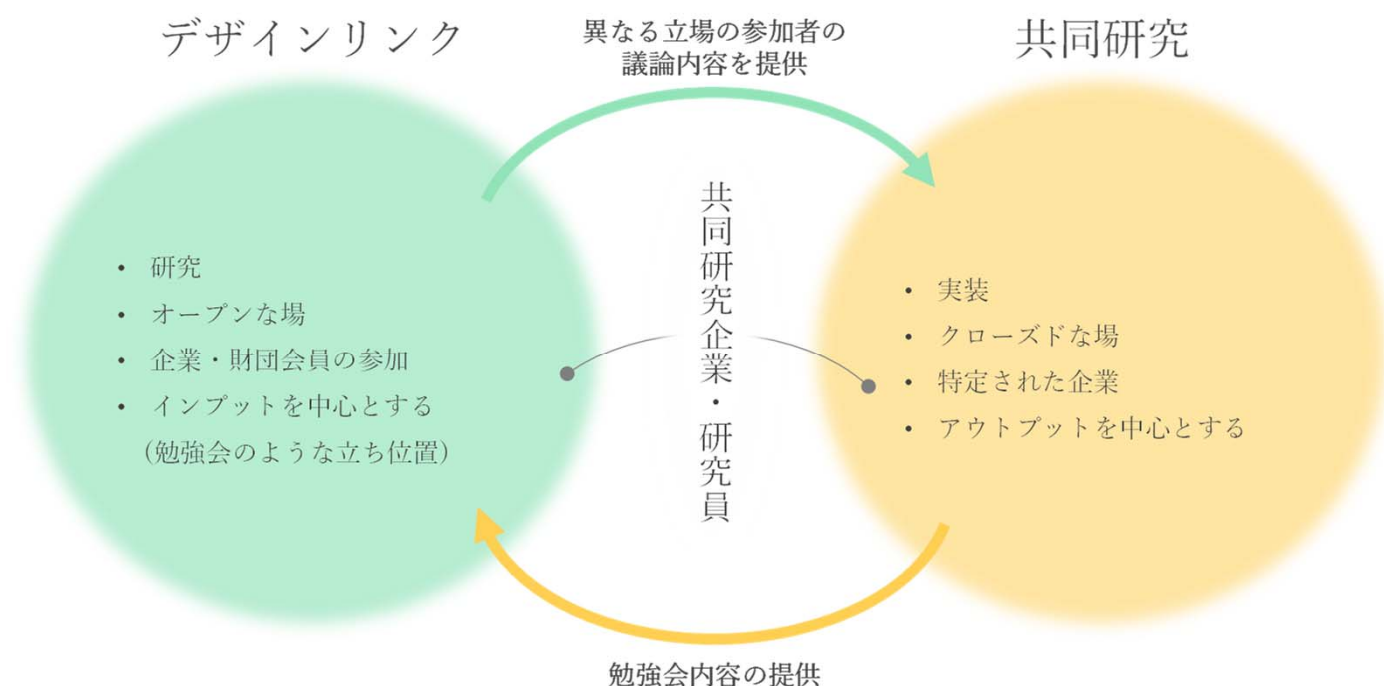
デザインリンクとデザインハブ

価値創造の実現に向け、「学習基盤社会ベース、グランドデザイン研究ベース」を基盤に講義や研究を進めます。「ベース」の理念を実現するため、関連テーマごとに細分化した「デザインリンク」にて社会実装や研究を進めます。外部団体などの「ハブ」と繋がりつつ、「デザインリンク」にて進めた結果を再度「ベース」に還元し、人生100年社会のグランドデザイン・実践をバージョンアップさせていきます。



デザインリンクと共同研究

デザインリンクと共同研究を1セットと考え、それぞれの活動で得られた見解を相互還元いたします。



6

当財団の理事等・参加方法

代表理事

神野直彦 東京大学 名誉教授
牧野 篤 東京大学大学院教育学研究科 教授

理事

占部 まり 宇沢国際学館 代表取締役
日本メント・モリ 代表理事
中村裕司 前アイ・エス・エスグループ会長
(株)アイ・エス・エスグループ本社 相談役

監事

春名潤也 弁護士
公益社団法人名古屋青年会議所 監事
セントラル法律事務所
松久久也 (株)プレジデントワン 代表取締役
ASEAN-NAGOYA CLUB 理事

評議員

加藤暢一 公認会計士
日本公認会計士協会東京会
公会計委員会 副委員長
加藤公認会計士事務所 所長
可児卓馬 (公財)京都地域創造基金 専務理事・事務局長
(一社)全国コミュニティ財団協会 理事
(一社)全国レガシーギフト協会 理事
土屋 彰 税理士
日本税理士会連合会 理事
東京税理士会 常務理事
城北税理士法人 代表社員

顧問

森田 朗 東京大学 名誉教授
津田塾大学総合政策学部 教授
藤野陽三 東京大学 名誉教授
横浜国立大学 名誉教授
城西大学 学長
新海英行 名古屋大学 名誉教授
今里 滋 九州大学 名誉教授
同志社大学 名誉教授
日本ソーシャルイノベーション学会 代表理事
新川達郎 同志社大学 名誉教授
日本ソーシャルイノベーション学会 代表理事
堀田聡子 慶應義塾大学大学院 教授
人とまちづくり研究所 代表理事
日本医療政策機構 理事
武田俊彦 元厚生労働省 医政局長
東京海上日動火災保険(株) 顧問
藤本貴也 元国土地理院 院長
荒木篤志 (株)八神製作所 代表取締役社長
池田昌人 ソフトバンク(株) CSR本部長・SDGs推進室長
上村多恵子 京南倉庫(株) 代表取締役
今村久美 認定NPO法人カタリバ 代表理事
小林憲治 スバル興業(株) 代表取締役会長
鈴木清晃 元郵便局(株) 専務執行役員
元(株)ローソン 上級執行役員
高橋直司 (株)やる気スイッチグループ 代表取締役社長
野崎秀則 (株)オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長
細島英一 東京海上日動火災保険(株) 常務執行役員
山崎 亮 (株)Studio-L 代表取締役
吉田博彦 NPO法人教育支援協会 代表理事

参加方法

人生100年社会デザイン財団の参加方法は以下の通りです。

会 員	入会金	年会費
法人会員	10万円	1口10万円
賛助会員（外部の連携団体）	—	1口10万円
特別会員（官庁・自治体・学校等の公共性の高い団体）	—	無償
個人会員	2千円	1万2千円
学生会員（大学）	—	6千円
学生会員（高校生以下）	—	無償

◆ 共同研究費 1口50万円（プロジェクト規模・参画企業数によって口数を決定）

◆ 寄付金 任意の金額

お問い合わせ先

人生100年社会デザイン財団 事務局

住所 : 〒106-0047
東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル2F
(株)アイ・エス・エス気付

TEL : 03-6408-6177

FAX : 03-6408-6199

E-mail : info@100design.or.jp

(担当 : 松崎、小椋)

